

戦略  
1就学前教育の実践と  
日本の伝統文化・行事の理解促進

## 戦略達成のストーリー

保育カリキュラムの中に小学校教育へつながる学習内容を導入し、小学校教育へのスムーズな移行を図る。また、伝統行事を楽しみながら理解できるカリキュラムを策定し、その由来や意味を知り、日本をより深く知ることで、礼儀作法を習得した思いやりのある子の育成へとつなげていく。

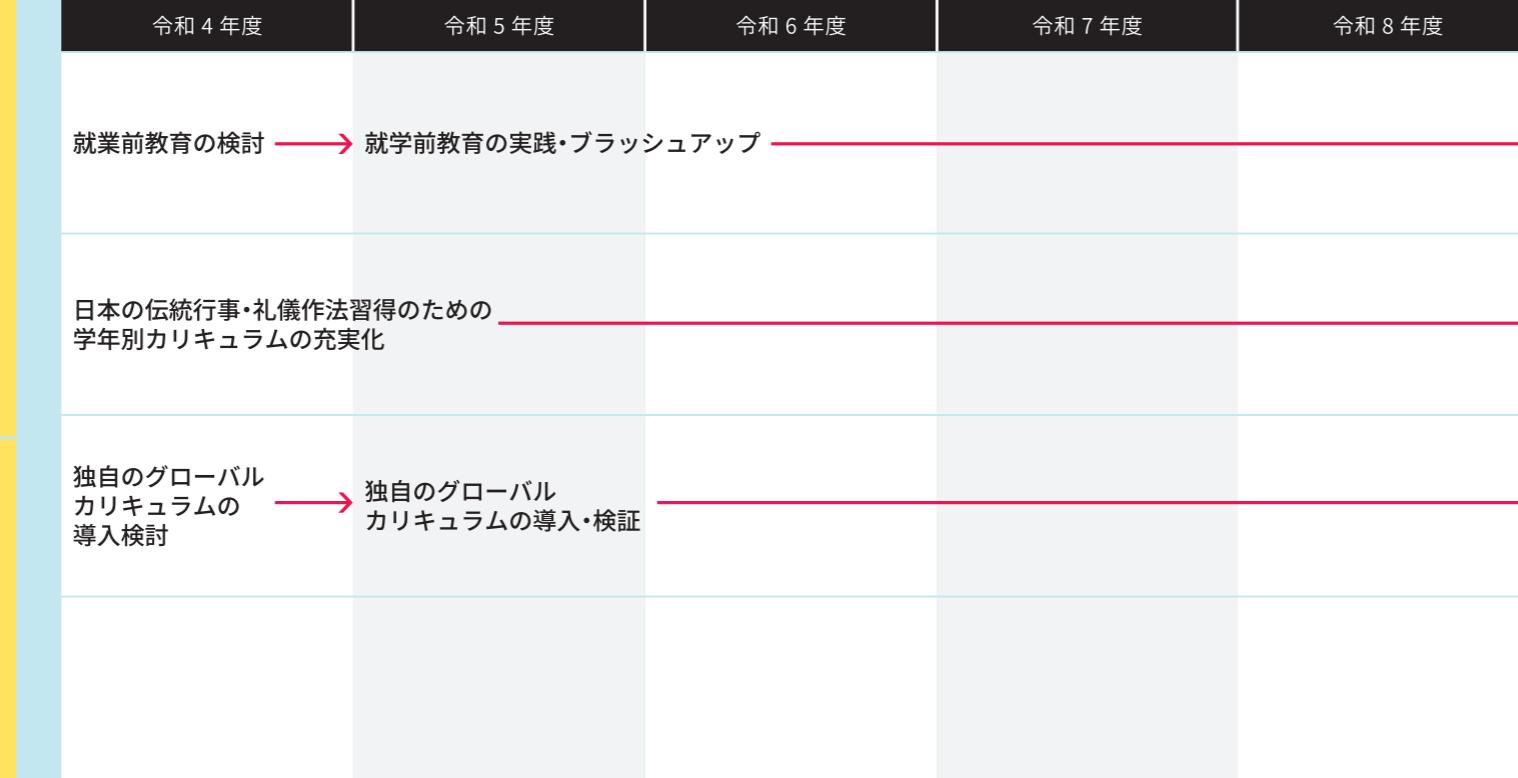
## 現在の姿

**[子育て支援]**園児が小学校教育へスムーズに移行できるための、就学前教育による子育て支援が求められている。

**[保育の質]**行事に成長要素を追加した保育活動や幼稚園独自のグローバルカリキュラムを導入していく必要がある。

## 現在の指標

就学前教育 カリキュラムの再構築	保護者満足度 アンケート
<b>未整備</b>	<b>準備段階</b>
グローバル カリキュラムの導入 <b>検討段階</b>	



## 達成後の姿

**[子育て支援]**園児が就学前教育で読み・書き・数・英語を理解し、挨拶・礼儀作法・身支度が完璧にできるようになっている。成長が見える形での子育て支援を行うことで、幼稚園が新たな価値を獲得している。

**[保育の質]**園児が日本の伝統行事を楽しむだけでなく理解できている。幼稚園独自のグローバルカリキュラムの導入によって、本園独自のカリキュラムが構築され、園児や保護者が受け入れている。

## 評価指標

就学前教育 カリキュラムの整備	保護者満足度
<b>完了</b>	<b>100%</b>
グローバル カリキュラムの導入 <b>完了</b>	

戦略  
2

## 国学院ブランドの必要性の再認識

## 戦略達成のストーリー

長期休暇中の預かり保育日数や時間の拡大、預かり保育後の送迎バス運行など、保護者のニーズに合った預かり保育を実現していく。また、ホームページでの情報発信や地域園庭開放「ママとなかよし会」の定期開催、保護者向け大学見学会などにより、国学院ブランドに対する深い理解促進を図っていく。

## 現在の姿

**[園児募集]**未就園児クラスを含めて入園定員を充足させる必要がある。

**[子育て支援]**保護者や地域のニーズに寄り添った預かり保育の充実を図る必要がある。

**[広報活動]**情報発信ツールの活用法を検証し、改善する必要がある。

## 現在の指標

入園児 <b>35人</b>	地域園庭開放 「ママとなかよし会」参加者 <b>62人</b> （延べ人数）
未就園児クラス からの入園者 <b>80%</b>	ホームページアクセス数 <b>15,919件</b>



## 達成後の姿

**[園児募集]**未就園児クラスを含めた入園定員が充足し、地域に根差した魅力ある幼稚園として評価が向上している。

**[子育て支援]**保護者のニーズや社会情勢に対応した預かり保育制度が構築されている。

**[地域連携・社会貢献]**地域園庭開放が子育て支援の役割を果たし、地域社会の行事として認知され、参加者が繰り返し参加している。

**[広報活動]**ホームページやSNSを通じて、地域社会および保護者に向けて幼稚園の特色や活動をより広く発信できている。

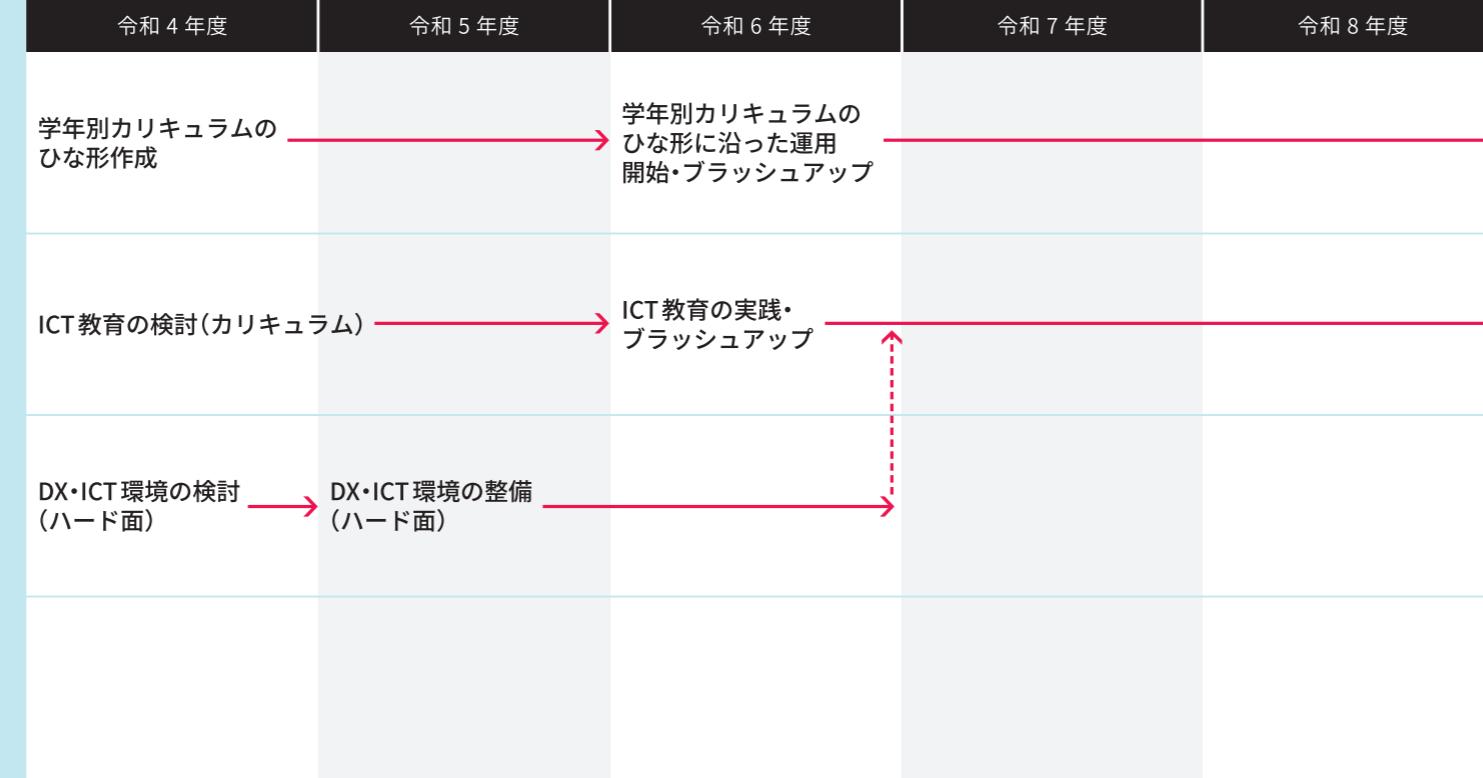
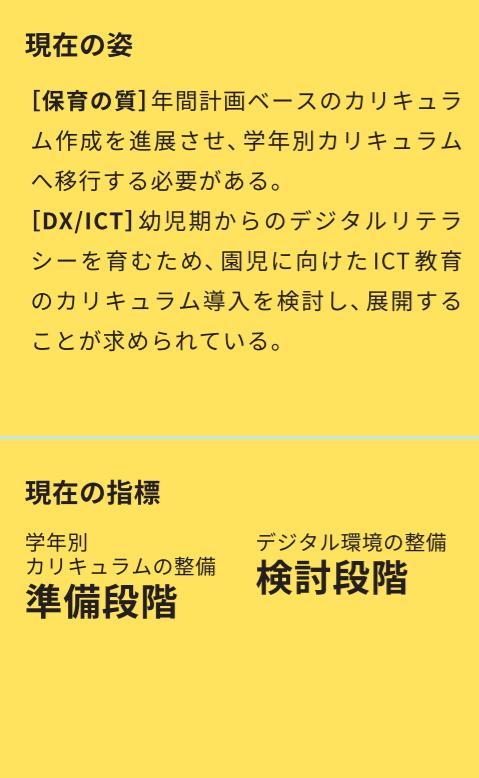
## 評価指標

入園児 <b>50人</b>	地域園庭開放 「ママとなかよし会」参加者 <b>200人</b> （延べ人数）
未就園児クラス からの入園者 <b>100%</b>	ホームページアクセス数 <b>22,000件</b>

戦略  
3学年ごとの習熟度に合わせた  
カリキュラムの構築

## 戦略達成のストーリー

現在行っている年間計画を、学年ごとの詳細カリキュラムへ落とし込むこと並行して、学年別カリキュラムのひな形を作成していく。さらにDX・ICT環境の整備を行い、最先端のICT教育カリキュラムを導入していく。



## 達成後の姿

[保育の質] 学年別のカリキュラムが構築され、そのカリキュラムを教員全員が理解し、園児への保育活動が行われている。  
[DX/ICT] DX・ICT教育環境が整備され、利用が始まっている。最先端のICT教育カリキュラムが実行に移され、ブラッシュアップも行われている。ICT教育の実践によって、園児がデジタルリテラシーを身につけている。

## 評価指標

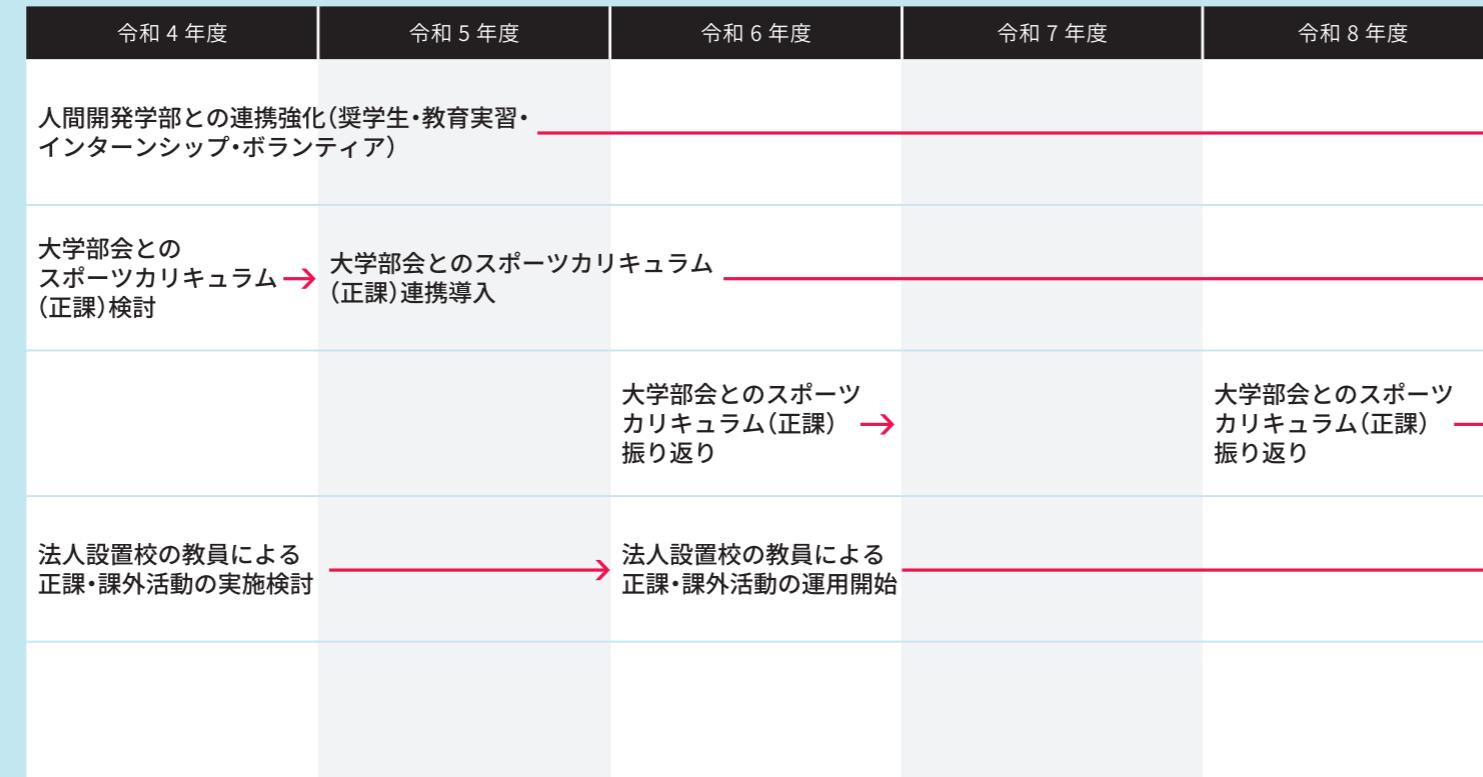
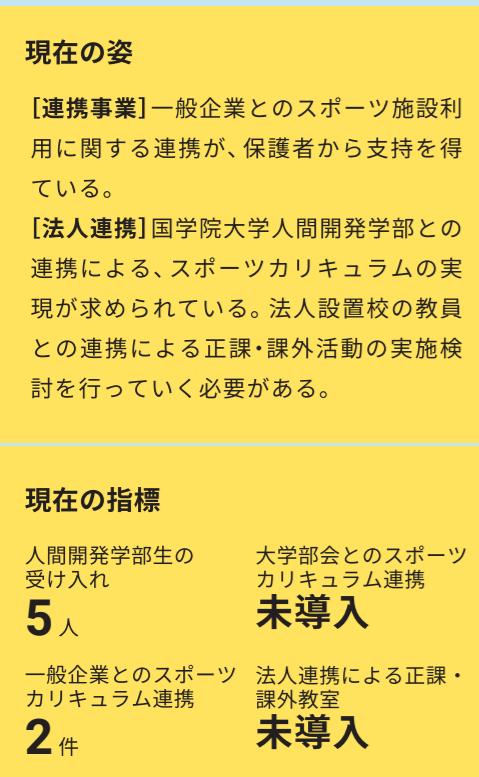
学年別  
カリキュラムの整備  
**完了**

デジタル環境の整備  
**完了**

戦略  
4法人設置校のスケールメリットを  
生かした環境整備

## 戦略達成のストーリー

奨学生、教育実習、インターンシップ、ボランティアなどを通じて、国学院大学人間開発学部との連携強化を図っていく。また、大学部会との連携によるスポーツカリキュラム導入や、法人内の教員と連携した正課・課外活動の実施によって、園児たちに幼稚園の段階から質の高い学びの機会を提供していく。



## 達成後の姿

[連携事業] 一般企業とのスポーツ施設利用に関する連携が継続し、双方の魅力が高まっている。  
[法人連携] 国学院大学人間開発学部との連携がさらに充実し、スポーツカリキュラムが園児や保護者に受け入れられ、幼稚園の特色を表わすプログラムとして充実している。法人設置校の教員との連携による正課・課外活動が実施され、幼稚園の特色を表わすプログラムとなっている。

## 評価指標

人間開発学部生の受け入れ  
**10人**

大学部会とのスポーツカリキュラム連携数  
**3部会**

一般企業とのスポーツカリキュラム連携  
**定着**

法人連携による正課・  
課外教室の導入  
**完了**

戦略

**5****研修制度の確立とコミュニケーションの強化****戦略達成のストーリー**

園内研修の実施に加え、担当学年ごとに、その学年の内容に合った研修会をリアルタイムで実施し、より効果的にスキルの向上を図っていく。園内では補えない特殊技能スキルは外部研修を活用することで、教職員同士はもちろん、保護者とのコミュニケーションも図りながら、進化する教育内容へ対応していく。

**現在の姿**

**[教職員組織]**学年や内容に合わせた研修カリキュラムを構築することで、教職員がより効果的にスキル向上を図れるようすることが求められている。

**[コミュニケーション]**教職員間、保護者間とのコミュニケーション時間を確保することが一層求められている。

**現在の指標**

外部研修参加率  
**75%**

年齢・年次別  
研修カリキュラム  
**未整備**

園内研修満足度調査  
**準備段階**

外部研修満足度調査  
**準備段階**

**達成後の姿**

**[教職員組織]**学年や内容に合わせた内外の研修制度が構築され、教員が必要なスキルを身につけている。教職員が内外部研修で習得した内容を他の教職員と共有し、成長し合える環境になっている。

**[コミュニケーション]**教職員間でスキルを高め検証しあうことで、さまざまな教育内容に対応できている。保護者とのコミュニケーション時間も確保され良好な関係を維持している。

**評価指標**

外部研修参加率  
**100%**

学年別研修  
カリキュラムの整備  
**完了**

園内研修満足度  
**100%**

外部研修満足度  
**100%**